

## △ 使用上の注意 ☒ してはいけないこと 解熱鎮痛薬

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。(3) 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと(眠気等があらわれることがある。) 4. 服用前後は飲酒しないこと 5. 長期連用しないこと

**相談すること** 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人の (4) 水痘(水ぼうそう) 若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(5) 高齢者。(6) 菜などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
皮膚：発疹・発赤・かゆみ／精神神経系：めまい／消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振／その他：過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状	副作用被救済制度
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。	2 0 1 2 0 1 4 9 9 3 1
皮膚粘膜眼症候群 (スイーピー・ジョンソン症候群)、中毒性皮膚死滅解離症、急性汎発性発赤性膿瘍症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなったり皮膚上に小さなブツブツ(小胞疹)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。	
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黃疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。	
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき・発熱等があらわれ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。	
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。	
ぜんそく	息をするときゼーザー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。	
3. 服用後、次の症状があらわされることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気 4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること	2包(1包1g×2)入　¥ 200+税	



配置期限

# ZUTUNōICHI 頭痛・神経痛

## ツツノーアイチ

### 解熱鎮痛薬

#### 第②類医薬品

#### 効能又は効果

- 1) 頭痛・歎痛・拔歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の頭痛
- 2) 悪寒・発熱時の解熱

#### 用法及び用量

- |                         |                                                 |
|-------------------------|-------------------------------------------------|
| 大 人 (15歳以上) ..... 1回 1包 | いざれも1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさせて服用すること。服用間隔は6時間以上おくこと。 |
| 7歳以上15歳未満 ..... 1回 1/2包 |                                                 |
| 3歳以上 7歳未満 ..... 1回 1/4包 |                                                 |
| 3歳未満は服用しないこと。           |                                                 |

(用法及び用量に関連する注意)

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

#### 成分及び分量 1日量(2包(2g))中

- |                        |                                    |
|------------------------|------------------------------------|
| 日局 アセトアミノフェン ··· 600mg | 添加物としてヒドロキシプロピルセルロース、グリチルリチン       |
| 日局 エテンザミド ..... 600mg  | 酸2K、グリセロリン酸Ca、バレンシア                |
| 日局 プロモバレリル尿素 ··· 400mg | 無水カフェイン ··· 200mg イソジデンブン、香料を含有する。 |

**保管及び取扱い上の注意** (1)直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。(2) 小児の手の届かない所に保管すること。(3)他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)(4)1包を分割した残りは、袋の口を折り返し、残量を記載して保管し、2日以内に服用すること。(5)配置期限をすぎた製品は服用しないこと。

製造販売元 大和合同製薬株式会社  
奈良県橿原市川西町632-1

お問い合わせ先  
0744(27)3325



**△ 使用上の注意 ☒ してはいけないこと 解熱鎮痛薬**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。(3) 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと(眠気等があらわれることがある。) 4. 服用前後は饮酒しないこと 5. 長期連用しないこと

**相談すること** 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人は。(4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(5) 高齢者。(6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 皮膚：発疹・発赤・かゆみ／精神神経系：めまい／消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振／その他：過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなったり皮膚上に小さなブツブツ(小嚢泡)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする、息苦しくなる、空せき、発熱等があられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(筋肉が痛む)、下痢、尿量の減少等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーザー、ヒュヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわされることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気

4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

2包(1包1g×2)入 ¥ 200+税



配置期限

副作用  
警告  
表示  
説明  
2  
0  
1  
1  
2  
2  
0  
1  
4  
9  
9  
3  
1

頭痛・神経痛 第②類  
解熱鎮痛薬 医薬品

**ヅツノイチ**

**効能又は効果**

1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛 2) 悪寒・発熱時の解熱

**用法及び用量**

大 人 (15歳以上)	1回 1包
7歳以上 15歳未満	1回 1/2包
3歳以上 7歳未満	1回 1/4包
3歳未満は服用しないこと	

いずれも1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさせて服用すること。服用間隔は6時間以上あくこと。

(用法及び用量に記述する注意) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

**成分及び分量** 1日量(2包(2g))中

日局 アセトアミノフェン	600mg	添加物としてヒドロキシプロピルセルロース、ブリ
日局 エテンザミド	600mg	チルワニチン酸2K、グリセ
日局 プロモバレリル尿素	400mg	ロリン酸Ca、バレイショ
日局 無水カフェイン	200mg	デップル、香料を含有する。

**保管及び取扱い上の注意** (1)直射日光の当たらない温涼の少ない涼しい所に保管すること。(2) 小児の手の届かない所に保管すること。(3)他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因にならない品質が変わると1包を分割した残りは、袋の口を折り返し残量を記載して保管し、2日以内に服用すること。(4)配製期限をすぎた製品は服用しないこと。

製造販売元 大和合同製薬株式会社 お問い合わせ先  
奈良県橿原市川西町632-1 0744(27)3325

<div style="position: absolute; right: 0; top: 0; width: 100%; height: 100%; background-color: pink; opacity: 0.000000000000